



ひろき
宮川 大輝さん

中京大学
(愛知県)

2017年11月 「不動産運用設計」
「ライフプランニング・リタイア
メントプランニング」
「リスクと保険」合格
2018年 6月 「金融資産運用設計」
「タックスプランニング」
「相続・事業承継設計」合格

勉強の過程も就活にプラス 第一志望の金融機関から内定!

CFP®試験の定番問題や重要問題は、Myページの「CFP®試験 過去問ピックアップ解説!」で詳しく解説しています。

Myページ

<https://members.jafp.or.jp/>

MY SUCCESS POINT

「エビングハウスの忘却曲線」を
応用して復習

金融業界を目指して挑戦

私が通う中京大学は、資格センターでの資格講座が充実しています。数ある資格の中でFPを選んだのは、経済学部ということもあり、FPの勉強が学部の勉強にもつながると思ったこと、また実生活に役立つ知識を多く学べると思ったからでした。2年生の5月に2級FP技能検定に合格した後、さらにCFP®試験合格を目指しました。銀行勤務の家族の影響もあって、金融業界で働きたいと思うようになり、FPの知識があれば就職した後に活躍しやすくなるのでは、と考えたからです。

大学での資格講座は3課目ずつ照準を合わせて取り組みます。週に2回、夜6時からの講座を受けた後、帰宅する電車の中でその日の内容をざっと復習しました。30分ほどの電車の中ですんなり理解できた内容は復習はなし。難しい、重要と感じた項目は、帰宅後や、翌日に確認し、さらに1週間後、1カ月後、2カ月後といったスパンで復習します。「エビングハウスの忘却曲線」を応用した勉強法です。これを1日単位で復習計画を立て、絶対守ることにしました。私は長時間勉強を続けることが苦手なので、こうして毎日のノルマを設定することでモチベーションを保つようにしたのです。一番苦労した科目は金融資産運用設計です。複雑な計算問題が多く、投資経験もなかったため、問題で問われる金融商品のイメージがつかみづらく苦労しました。

また、私には大学の弓道部での部活動もありました。遠征や大会などもあり、なかなか勉強の時間が取れずにモチベーションが下がってしまう時期もありました。しかし、一緒に講座を受けていた仲間が合格に向けて真剣に努力している姿を見て、自分も頑張ろうと思えました。講師の先生もフランクな方で、いろいろな質問や相談もしやすかったですし、仲

2020年度 第1回CFP®資格審査試験

6月14日(日)
6月21日(日)

詳細は協会ホームページ
(<https://www.jafp.or.jp/>)
をご覧ください

間同士でわからないところを教え合うことで、自分の弱点を把握したり、逆に教えることで知識をアウトプットして理解を深めることができました。暗記事項はみんなで語呂合わせを作るなど気分転換も共にでき、心強い存在でした。1人での挑戦だったら合格できなかったと思います。ちなみによく弓道をしていると集中力が高まるのでは、と言われますが、私の感覚はむしろ逆で、勉強で集中力が鍛えられて、それが弓道にも活かされ、よい成績につながった気がします。

全課目合格して、とにかくほっとしました。就職活動が始まる3年生の夏までには全課目合格することを目標にしていたので、自信を持って就活に臨みました。就活の際にはCFP®試験の勉強をしてきたという努力の過程を評価してくれる面接官の方も多く、さらに自信につながりました。また、金融機関で行ったインターンシップでも、FPの知識があったおかげで周りの学生よりもグループワークや発表に積極的になれたと思っています。自己PRや学生時代に頑張ったことを話すうえでも、合格するまでの自分の努力や苦労した経験がその材料になりました。

私は無事、第一志望の金融機関に内定をいただきました。社会に出てからはこの資格で得た知識を活かし、より多くの人の役に立ちたいと思います。また、CFP®試験に全課目合格したという結果に満足することなく、さらに金融の知識を深めていきたいと考えています。

体験談登壇者募集!!

CFP®試験の合格体験エピソード、勉強法などをお寄せください。①会員番号(必須) ②氏名 ③昼間の電話ご連絡先 ④ご自身の体験(形式は自由)を明記のうえ、Eメールにてご応募ください。採用の方には、編集出版課よりあらためてご連絡いたします(追加取材をさせていただく場合がございます)。なお、採否のお問い合わせにはお答えしかねます。悪しからずご了承ください。

体験談送付先 → journal@jafp.or.jp
件名は「合格体験談」係